

1 4 番 通告7番、14番議員、鈴木武夫でございます。私は、通告に従い、次の2項目についてご質問いたします。

1項目目は、相和ブランド創出についての問いです。

2項目目は、町の観光についての問いです。

町の平成28年度の当初予算は、5つの視点に重点を置き、編成をされました。そのうちの効果の見える施策、事業の展開について、次の2項目についてご質問をします。

今回の質問は、町の今後の発展のため、効果の見える施策と効果の見える町の事業の展開に視点を置いたご質問をいたします。

1項目目のご質問です。平成28年度当初予算の施政方針には、相和ブランドの創出を掲げています。先日行われました大井町体育協会の50周年祝賀会での他町の体協の方のごあいさつにもありましたが、相和地域は陸上ですばらしい活躍をされる方が、昔も今もたくさんおられます。私が湘光中学校に入学したときに、相和地域から入学してきた同級生が、皆、足が速くてびっくりしたことを思い出します。また、相和地域は、多くの教育者を出された地域であるようなイメージがあります。

しかし、最近では、相和地域は若い人の流出による人口の減少、高齢化による地域活力の低下、後継者不足による農地の荒廃等の課題があります。そのため、相和地域には、過去から数々の施策が計画されました。古くは民間による大井町I C A A計画がありました。その後、集落地域整備法による、いこいの里・相和計画が計画されましたが、その後中断され、現在に至っております。

相和地域の活性化は、重要な町の施策であります。そこで、次の5点について、ご質問をいたします。

1点目、急に相和ブランドといわれても、あまりにも抽象的であります。具体的に、相和ブランドとは何か、お伺いします。

2点目、地域の活性化を目的に開催されておられる、相和地域活性化委員会の今までの活動内容と、成果をお伺いいたします。

3点目、相和地域活性化委員会の今後の活動計画をお伺いします。

4点目、町道501号線は、平成28年度で、きらめきの丘おおい内の道路の改良工事を行います。しかし、まだ、きらめきの丘おおい敷地内の道路改良工事は400メートルぐらい残っております。しかもその先はまだ600メートルぐらい手つかずであります。集落間道路として重要な町道501号線の全線開通の時期はいつ頃を計画されているのかお伺いいたします。

5点目、これからの相和地域を支えていくのは相和小学校と考えます。そこで、相和小学校を相和ブランドにする予定はあるのか、お伺いしま

す。

2 項目目は町の観光についてであります。町は平成28年度予算に観光の予算を計上しております。しかし、現在、町に来るイベント客は見られますが、町に来る観光客は見かけません。そこで、平成28年度の誘客のための町の施策について、次の2点についてお伺いします。

1 点目、おおい夢の里は計画が途中で終わっております。ここは町の観光スポットになるところであります。おおい夢の里の今後の取組をお伺いします。

2 点目、町に誘客するための地域として、酒匂川沿いのせせらぎづくり事業があります。このせせらぎづくり事業の今後の取り組みをお伺いします。

以上、大きく2項目についてご質問いたします。ご答弁をよろしくお願いいたします。

町長 通告7番、相和ブランドの創出を問うというようなことで、前段で5点、後段の町の観光を問うということで2点、詳細について7点ちょうだいしているわけですが、まず、1点目の相和ブランドとは何か、また相和小学校を相和ブランドにする予定はとのご質問は、関連がございますので、一括でご答弁をさせていただきます。

先般の12月の議会において議決をいただいた、大井町第5次総合計画後期基本計画における、4つの成長戦略の一つとしまして、相和ブランドの創出を掲げているわけでございます。相和地域において、観光拠点となるおおい夢の里の整備や、農業体験の拠点となる四季の里の充実を図り、交流人口の増加や、農業の6次産業化、商工業との連携による地域の活性化をめざすとともに、相和ブランドの積極的な発信による、更なるにぎわいの創出を図ってまいりたいと考えております。

また、相和幼稚園、相和小学校の通園・通学区域を全町化するとともに、特色ある教育を展開しようということでございます。このように、これまで取り組んできた「おおいゆめの里」や「四季の里」といった観光や体験型交流拠点の整備・充実を図りながら、希少な果樹であるフェイジョアや昭和女子大学と地域住民が共同開発したご当地弁当など、食に関する新たな活動を支援し、育成していきたいと考えているところです。

また、「体験交流」と「食」を軸としながら、相和地域の農村・里山空間と、そこで暮らす人々の温かさという強みを活かすことで、相和地域全体を癒しの空間として都市住民等に積極的に発信し、交流人口の増加をとおして新たな雇用の拡大を図っていききたいとするところでございます。

さらに、相和小学校については、来年度から相和地区外の就学希望者を

受け入れ、小規模ならではのきめ細やかな教育を実現するとともに、放課後や長期休業中に学習、スポーツ、遊びの場を提供する放課後教室を開催するものでございます。また、相和小学校をＩＣＴ教育推進校に位置づけ、近年、整備を進めてきた電子黒板やタブレット端末などを活用した教育に、先行的に取り組んできているところでございます。

こうした、癒しの空間としてのプロモーション活動や相和幼稚園を含めた教育への集中的な取り組みにより、相和地域全体を一つのブランドに見立て、地域全体の活性化へとつなげていきたいというような考えを持っているところでございます。

また、２点目のご質問でございますが、相和地域活性化委員会は、相和地域の活性化を推進するため地域の住民や団体等の意見等を取りまとめ、関連施策の事業展開に反映させることを目的として平成25年４月に設置された組織です。発足後は、地域活性化に係る課題や対応策の整理を行い、平成26年は、とりまとめた相和地域の活性化に関する意見書が私に提出されたものでございます。町においては、意見書の実現を図るため、できることから事業を開始してまいりたいというような考えてございます。

意見書提出後の委員会の活動としましては、開始した事業の進捗状況や今後の展開方針、国や県の補助金等の活用方針、さらには第５次総合計画や総合戦略など、町が行う相和地域活性化に関する重要な方針決定の段階において、様々な意見をいただいているところでございます。

そして、これまでの成果でございますが、意見書や委員会の中で出された様々な意見を具体化したものとして、四季の里での休憩所の整備、施設をPRするための看板の充実、おおいゆめの里における様々な花木等の植栽、農業体験事業充実のための各種備品等の購入、四季の里まつりの充実、有害鳥獣捕獲隊の編成及びひな祭り事業の広域連携など、様々な方面に展開しているところでございます。

来年度予算に計上しております、小規模圃場整備補助制度、また有害鳥獣猟銃免許取得補助制度、バーベキューセットや遊具の購入、景勝地の誘導看板の設置などの新規事業も、活性化委員会から出された意見の具体化であります。また、意見書のとりまとめ終了時に、相和地域の活性化を推進するためには様々な課題はあるが、その多くは相和地域に多くの方に来ていただくことにより改善に向かうものである。よって、相和地区におけるイベントなどのソフト事業の充実と、観光の拠点となるゆめの里、四季の里、郷土資料館、加工所といった各施設の有効利用を図るべきである、さらに、イベント等の開催は、町が決定したものを地域に押し付けても定着しない。過去にそういうふうな例もありまして、各地域でいろいろ

な事業をやっていただくことをお願いして、途中まで来たんですが、町でそんなことを決めても我々はというようなことで投げ出されてしまった経緯もあるわけですが、地域の方々の認識なくしては、町で誘導するだけで相和地域の活性化を図ることはなかなか難しいなということも考えながら、地域の方々にいろいろな地域の皆様方の活動ができるような方策を考えていくためにも、相和地域活性化委員会等をもったわけでございます。地域の住民、また農業者、特に若い世代の者が自ら考え計画してこそ定着し、活性化につながるんじゃないかなろうか。そのようなイベント等を自発的に考える組織を作るべきであるとの意見もいただいているわけでございます。

その中で、新たな組織を立ち上げたものでございます。この組織の構成メンバーは相和地域を中心に公募により募り、相和地域活性化委員会の下部組織として位置づけ、相和地域活性化検討部会と命名し活動を開始しました。今年度、地方創生に係る地域住民生活等緊急支援交付金を財源とし、相和地域の活性化を目的とした地域活性化事業支援委託事業を実施しておりますが、コンサルが取りまとめ役となり、この検討部会のメンバーと昭和女子大学の学生にも参加いただきながら、多くの方に相和地域を知ってもらい、かつ誘客を図るためのイベント等の検討や、試験的な開催を行っております。

その成果としましては、新たな観光資源の掘り起こしのほか、フェイスブックによる食の魅力や優れた景観、農業体験といった地域資源の情報発信、相和地域への誘客に多大な実績のある地域住民へのイベント開催の支援、民泊を視野に入れた交流体験事業を推進するための勉強会の開催などが挙げられるものでございます。

3点目のご質問でございますが、この検討部会において継続して検討している事業もございまして、その具体化を図ってまいりたいと考えております。

そして、これらのソフト事業の具体化と関連し、また事業実施のフィールドともなり得る各種公共施設のあるべき姿も検討して参りたいと考えております。その中でも特におおひゆめの里については、既に決定している「未病いやしの里センター」の来場者を相和地域に誘導するために、観光拠点としての魅力を高めるための早期の整備が必要であると、多数の委員から意見をいただいております、この対応については積極的に行う必要があるという認識を持っているところでございます。

そして、「未病いやしの里センター」の基本計画の策定後においては、相和地域との連携による様々な事業の検討も必要であると考えておりま

す。

続いて、町道501号線でございますが、この道路は町道4号線から町道6号線をつなぐ集落間道路であり、現在、下山田地区のエバラ食品工業ときらめきの丘おおいの境界までの区間、約880メートルが整備済みとなっており、その先、きらめきの丘おおいエリア内、約600メートルにつきましては、メガソーラーの整備事業により、将来計画に基づき形成された道路の本格整備を、平成27年度から平成30年度の4か年計画で進めることとしております。

当該路線は、相和地域の活性化の拠点となる「四季の里」や「おおいゆめの里」、「いこいの村あしがら」等を結び、また、地域間を結ぶ重要な役割を果たす路線であると認識しており、その機能を効果的に発揮させるためにも、現計画完了後、引き続き整備推進を図ってまいりたいと考えてございます。

しかしながら、「きらめきの丘おおい」から町道6号線までの区間、約600メートルにつきましては、現在、整備を進めている区間とは異なり、用地測量、計画立案、用地買収等を行った後に整備を行っていく必要があり、多額な費用と工期を要することが想定されます。詳細な設計等が明確でない現時点におきましては、具体的な開通時期についてお示しすることはできませんが、今後、早期完成に向け取り組んでまいりたいと考えております。

続きまして、おおいゆめの里の今後の取り組みを伺うというような、観光の分野でございますが、このご質問は、清水亜樹議員への回答と重複する内容もございますが、施設や設備に関する方針につきましては、清水議員にお答えしたとおりでございます。今後、相和活性化委員会やゆめの里育育隊の皆様を中心に検討を進めてまいります。

施設、設備以外の取り組みでございますが、まず、ご質問において、町に来る観光客を見かけないということでございますが、四季の里やゆめの里への来場者は増加してきております。昨日も私も足を運んでみましたが、このところ、ひな祭りもやっていたり、早咲きサクラもだんだんと開花が進んでおりまして、四季の里の駐車場も満杯になったり、また、甘酒のサービス等も、飲んだカップの廃棄してある量を見ましても、大変なお客様が来てくださったのだなというような状況であったわけでございます。来場者数のカウントは特に行っておりませんが、四季の里直売所も毎年来場者が増加しているような状況もあるわけでございます。特に、今年はゆめの里の菜の花や桜の開花以降は、かなりの方に来ていただいております。

さらに近年、ハイカーも確実に増加しております。これらはサクラや百日紅も生育が進み、開花状況も年々良くなっていることもあるかと思いますが、四季の里まつりや近隣市町と連携したひな祭り等などにおいて、横浜方面への周知、宣伝に力を入れていることによる少し効果が上がってきているところでございます。

四季の里まつりでは横浜方面からの体験イベントの申し込みが増加し、大型バスで行きたいが駐車できる場所はあるかとの問い合わせも寄せられておりますので、年々効果は上がってきているものと思われます。また、1日でございますが、東京・横浜方面に市民農園を運営している会社がありまして、100までいかないわけでございますが、6、70の市民農園を運営している会社が、四季の里の前にも市民体験農園を設けたいと、用地を提供してほしいということで、私のところにも足を運んでいただきました。また、そんな事業も含めて、ハード整備だけでなくイベントなどのソフト事業の充実等も合わせて、PRを充実させていく必要があるかと思えます。まずは、相和地域の方々、一生懸命やったださる方もおられるわけでございますが、地域全体として、相和地域の活性化のために、皆が力を合わせていただければならないのではないかと思います。私も、スーパーがなくなる、バスの本数が少なくなるというような、相和地域の一戸幾らか出資金を出していただいて、町もそれと同額の出資金を出して、株式会社なりを設立して、いわゆるスーパーというか、お店の運営やバス路線の運営も図って見たら、やはり経営することによってどのような苦労があるのか、じゃあどうすれば経営がよくなるのか、利用が増えるのかというようなことも研究してみたらどうですかというような投げかけを、町政懇話会でもしたり、相和活性化委員会の中でもそんなことを委員の皆様へ申し上げましたら、そういうことに関しますと、返ってくるものがないというようなことである。そんなところが一つの課題であるのかなと思っております。あくまでも、町が誘導することは可能でございますが、町の誘導だけでは相和地域の活性化を実現するというのは、ある面では難しいのかなと。地域の皆様方の意識をどうやって高揚させられるかということが、町の仕事の一つじゃなかろうかなというように考えているところでございます。

何はともあれ、少しずつではございますが、観光客の皆様方にも来ていただけるようになりつつありますので、今後、町として各方面へPR活動等の誘客のための努力はしていく必要がある。また、地域の目玉になるようなものを開発していくということは町の責任ではなかろうかなと、強く感じているところでございます。

そして、次のせせらぎづくりでございますが、酒匂川沿い散策路・せせらぎづくり事業につきましては、平成22年度をもってハード面の整備は完了しているわけでございます。このせせらぎづくりは、ちょうど竹下さんが総理大臣の頃、ふるさと創生というような中で、一部着手したのものもあるわけでございます。

その中で、エリア内の菖蒲園、ひょうたん池、水辺の広場などの各施設の改善や維持管理を行うとともに、これらの施設や酒匂川堤防道路を利用したウォーキングコースの設定及び案内看板の設置、「まるかじりマップ」や町ホームページなどでの周知を図っているところでございます。

先般、酒匂川沿いに私も足を運んでみました。スイセンも咲いているかに見えて期待をしていったところ、ある人に聞いたら、散歩に来る方がみんなつまんで持って帰られますよというようなことを聞いたんですが、それでも、多くの方が足を運んでいただけるのもいいんじゃないかなと思いますし、松の木も大きくなってまいりましたもので、そんなことに期待をしたり、スイセンがさらに増えていけばいいなと考えて、できることはいろんな努力の中で増やしてまいりたいと考えているところでございます。

また、エリア内での動植物の観察会などを開催する他、平成26年度からは各施設や農地を利用したウォーキングと農業体験を組み入れたイベントでございます。「おおい自然園」のスタッフや足柄観光ガイドの会、農家の方などの協力を得て開催してございます。このイベントは計3回開催しましたが、東京や横浜、相模原などの遠方の方からもご参加いただいているところでございます。

そして、各施設におきまして、毎年度、改良を実施しており、菖蒲園においては開花状況の改善に伴い園の知名度も少しずつではございますが高まっているようで、今年度も花が盛りの時期には毎日、町内外から多数の方に来場をいただきたい、そんな考えでございます。

また、今年度は水辺の広場に新たに蓮を植栽するとともに、アジサイを増やし、また菖蒲園にも新たにアジサイを植えるなど、花による観光資源としての整備を少しずつでございますが、整理していこう、そんな考えでございます。

さらに、5月から8月頃の菖蒲、アジサイ、蓮の開花時期には、さらに多くの方に来場をいただけるように努力をしてまいりたいと考えているところでございます。

今後の取り組みといたしましては、まず来年度事業でございますが、ウォーキング事業につきましては、開催回数を増やすなどさらに充実を図

るとともに、来場者へのサービス向上のため、ひょうたん池と水辺の広場でのベンチの設置、ひょうたん池をPRするための表示看板の設置、さらに菖蒲園では町民に愛着を持っていただくとともに、さらに知名度を高めるため、管理作業のボランティア募集にさらに力を入れるなど、計画していこうというようなことでございます。

今後においては、イベント事業につきましては参加者から好評をいただいておりますので、ご意見を伺いながら、改良を重ね、開催してまいりたいと考えております。

そして、特に菖蒲と蓮の名所となるよう、常に栽培技術の研究と適正な維持管理を行うとともに、新聞などメディアを活用しながら幅広い周知を図り、さらに、近隣市町とも連携した花巡りやイベントの開催など、広域的な回遊促進も視野に入れながら、観光客の増加を図ってまいりたいと考えているところでございます。

先般も、記者クラブとの懇談の中で、大井町さん、いい資源があるから上手く活用されるとよいですよというようなご意見等もちょうだいしたところでございます。まだまだPRやその辺の手法が稚拙なのかなというような反省もしているわけでございますが、何はともあれ、もっと努力していきたいというような考えてございますので、また議会の皆様方のご指導等もちょうだいできればとお願いするところでございます。

以上、答弁とさせていただきます。

1 4 番 再質問します。大事なところがよくわからなかった部分があるので、再質問でお伺いします。

相和ブランドって、町長も答弁の中で、相和全体を一つのブランドとしてということだと思いうんですけれども、ブランドにするというのは、まず物があって、フェイジョアのアイスクリームじゃないけど、物があって、おおい夢の里の景色から、そこから富士山を見るとか、来年の予定だと、今度は大山を見るとかという、景色。それともう一つは、ブランドの中には人材、人とか、そういうものが全部一体となって一つのブランドが形成されると思いうんです。

順番に聞いていきますけど、まず最初に、相和ブランドというものを町長が説明されましたけれども、私の質問の中で、相和地域活性化委員会、そちらのほうは、相和ブランドのものに対してどのようなご意見を持っているか、お伺いします。

地域振興課長 相和活性化委員会の中で、特に相和ブランドということについて、改めて話をしたといいますか、検討したというか、そういったことでは、具体的にやっていないんですけれども、総合的に活性化委員会の中でも

さまざまな意見が出ていて、そういうことについて解決を図るということになりますと、やはり象徴的な言葉として、相和ブランドの創出ということが適した言葉ではないかというようなことで、このような表現をしているところでございます。

特に相和活性化委員の皆様は、そのような問いかけをしたということは、現状ではございません。以上です。

- 1 4 番 わかりました。今回、予算を上程するにあたって、国保会計、それから下水道会計、それから水道会計、みんな審議会にかけてこちらに出すんですね。今回、施政方針を出すのに、相和ブランドというのをメインで打ち出すんでしょう。ということは、審議会にあたるような、相和地域活性化委員会の意見を聞くのは当然のことだと思うんですけど、そういうのを無視していいんでしょうか。私は当然聞くべきだと思うんですけど、それについてどうですか。

相和ブランドをこのようにやっていきたいというのを、町長の答弁の中で、相和地域活性化委員の活動もよく説明していただきました。そういう中で、これから大井町は相和ブランドとして売っていくんだよと言っているのに、何で相和地域活性化委員会にご意見を聞かないんですか。私はそういう上下水道の審議会、国保の審議会とか、そういうのに答申を出す前のことが、これが委員会をこれからすごく大事にして、それをもとにして相和をよくするという、もとだと思うんですけど、それをやっていないのはおかしいと思うんですけど、どうなんですか。私はそれを絶対聞くべきだったと思うんですけど、いかがでしょうか。

- 地域振興課長 先ほど、そういったことで問いかけといいますか、審議はしていないということでお話ししてしまったんですけども、資料上はこのような言葉は記載させていただいておりまして、特にそこについて特化して審議しなかったということでございます。

ただ、やはり事業の方向性につきましては、相和活性化委員会の中で検討いただき、了解いただいているというふうなことでございまして、特に審議会という形式をとっているわけでもなく、諮問答申というような形式も行っておりませんが、その内容として、さらに方向性としての了解を得ているということでございます。

ということで、その言葉についてのみ審議していないということについてはございますが、方向性は合っているということでございます。以上です。

- 1 4 番 私としては、その委員会にかけるといい悪いというのは置いておいて、相和ブランドというのを打ち出しているんですから、これからそれが

どのように展開していった、町のためになるかというところだと思うんですね。メインは四季の里とかおおい夢の里だとすると、まずあの場所というのは、昔あそこの前のすごくくぼんだところとか、沢のところに東名か何かの残土を捨てて、開発するというのがもとにあって、それはまずいいということで、今、町長の言う里山を残したほうがいいんじゃないかということから、おおい夢の里公園ができて、今、花木園1とか2とか3ってありますけど、花木園1は早咲きザクラがずっとあるんですけども、松田の早咲きザクラというのは、前の前の町長が植えて、もう20年以上経っているからあんなに大きくなったんですけど、うちの町は10年前だから小さいんですけど、この前あそこの早咲きザクラを見に行ったとき、町の職員の方があと10年ぐらいしたら密集するのかなという話をされていたんですけど、考え方ですよ。私はすぐやるんだったら、あそこの間が空いてるんですよ、サクラとサクラの間に。あそこにどんどんサクラを植えて、全部早いうちに密集したほうがいいのかなと思うんですけど、10年ぐらい待つとあの辺は今のやつがもっと大きくなって密集すると思うんですけど、徐々にあそこに観光客を呼ぶのか、私は一気に観光客を呼ぶような施策を展開したほうがいいと思うんですけど、町のほうとしては、徐々に徐々に、ことし1,000人来たから来年は1,100人ぐらいでいいのかなとかって、再来年は1,200人かなとか、じゃあことしは1,000人だったら来年は2,000人、その次はもっと3,000人、4,000人という、どんどん観光客を呼んで、あの辺を活性化すれば、相和も活性化するのかなと思うんですけど、その辺についてはいかがでしょうか。

町長 相和ブランドというのは、一つの総合計画の中でのイメージ戦略的なものも入った中で、相和ブランドというような言葉を使わせていただいたというようなことでございまして、予算を上げるのに、審議会で相和活性化委員会にかけたかということですが、他のあれは条例上決まっております、審議会や運営協議会を持っているものですから、それはご理解いただきたいと思います。

それで、やはり、もう少し植えたほうがいいかというようなところは、私も少し気になっているところがありまして、ここらに植えたらどうかというようなことを、この間も現地を見まして指示をした部分もあるわけですが、あれ以上密植しますと、木の生育上、いろいろ問題があります。松田町も、現に一番初めに植えたところが、みんな記念植樹みたいに、植えた人の名前が書いてあったんですね。それで、この木は邪魔だからといって切った木があったんですね。そしたら、ある役場の職員の公務員の人の木だったというようなところもあったりしたんですが、

そこもそういうようないろんな方に苗を買っていただいて植えたという
ような経緯もあります。

少し足りないところは増やしていきたいと思いますし、もう少し増や
していく必要もあろうかと思ひますし、また、ひょうたん文化で植えてく
ださったヒョウタンザクラも、同時期に咲いておりますし、また、そうい
う点では、できれば同一視して、もう少し増やしていく必要もあろうか
と思ひます。また、課長も考へておりまして、他の木も植えていく必要があ
るんじゃないかと、春だけじゃなくて、紫式部だとか、四季が味わえる
ようなものも必要じゃなかろうかと思ひますし、ミカンの収穫期に咲く
ようなサクラも植えたらいいいのかどうかというの、そのようなところ
も考へていく必要があるのじゃなかろうかと思ひます。一気にというよ
うな考へもあろうかと思ひますが、木の植生等も考へた中で、無理なくや
っていくことも必要かなと思ひております。そういう点では、ようやくこ
こに来て花が開きつつあるのかなというふうな事業の展開を示しており
ますので、また、ご理解を賜り、ご意見等をちょうだいするところもあろ
うかと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

1 4 番 先におおい夢の里のほうへ行ってしまったんですけど、全体の相和ブ
ランドという、当初の予定どおり、おおい夢の里というのは花木園1に早
咲きザクラ、花木園2にシダレザクラ、花木園3に百日紅という木がある
んですけど、四季を追ってきてもらおうというふうな話ですけど、早咲きザ
クラのところは非常に交通の便もいいんですけど、花木園2のシダレザ
クラというのは、あんなところだれが行くのかなと思ひているんですね。
獅子窪から花木園2に行つて3までのすごい高低のある急坂を登つて、
何百メートルもあると思うんですね。高さから言つたら、相当、標高的な
ものが違ひし、あそこの道を歩いていくというのは、ハイカーにも相当脚
力がないといけないと思うんですね。

今回、花木園3の中に百日紅があるんですけど、その周りにきれいに水
仙が植わつていて、水仙もきれいになっているんですけど、たぶん、この
時期に見に来る人つて、百日紅の木がないから見に行かないと思うんで
すね。町長もきのう言われましたけど、百日紅の木の横に山百合の自生し
たところがあると、網が張つてあつたんですけど、総合的に考へて来させ
るように。

前から話があつたように、花木園3と花木園1というか、そこまでに行
く道がないんですね。前のおおい夢の里だと、駐車場を上につくるとか、
百日紅の上に展望台をつくつて富士山がよく見えるという計画があつた
んですけど、それはお金の問題でできないということですけど、やはりあ

そこの四季の里から花木園3に行く道をよくすると行くんじゃないかと思うんです。そうすると、花木園3がすごく活かされると思うんですけど、そういう計画というのはやはり全体を見渡して、ソフト面としていいものができたんだから、考えていったほうがいいと思うんですけど、その辺についてお考えはどうでしょうか。

地域振興課長 議員がおっしゃいますように、百日紅につきましては、おおい夢の里育て隊の皆さんと、剪定をするとか管理も行っておりまして、先日も行いました。

年々、そういった管理の効果も出てきてまして、非常に咲き具合がよくなっているということでございます。町としても、皆さんも、やはりこれだけ咲いているんだから見にきてほしいというのは当然の話でございまして、当初のゆめの里の整備の計画の中にも、確かに駐車スペース等も計画されていたということでございまして、それが今断念されたんだという経過もございます。

改めて、花の咲き具合もよくなってきているということで、四季の里からだいぶ離れておりますので、そういったところにたくさんの人が来るよう、できましたら駐車場とか、さらに敷地内の遊歩道、さらに行きやすいようなルートを検討しながら、しかも歩きやすい散策路、そういったことも積極的に考えるべきであるという認識を持ってございます。以上です。

1 4 番 わかりました。ちょっと、自分から提案ですけど、ずっと昔からあそこはそう言ってるんですけど、農村公園というんですけど、農村じゃないと思うんですね。そろそろ、桜公園とか、名前を変えたほうがわかりやすいんじゃないかと思うんですけど、そういうことは考えていないんでしょうか。

地域振興課長 農村公園の隣にゆめの里があるといいますか、同じような敷地が続いている土地でございます。先に農村公園ができたという経緯もございまして、そのときの恐らく補助金の関係でしょうか、場所的なものでしょうか、農村公園という名称がつけられたということで、今現在、利用者からすれば、ゆめの里につきましても、農村公園も同様の一体の施設であるということでございます。

確かに、ご指摘のように、適切な名称であろうかということもございます。今後、答弁でお話ししていますように、ゆめの里育て隊とか、相和地域活性化委員会の中で、いろいろとゆめの里の整備についても今後検討していく中で、その辺についても同時に検討の対象にしていきたいと、そのように考えます。以上です。

1 4 番 よろしく申し上げます。

それでは、その中で、四季の里の件について、相和ブランドというのは相和地域全体が、住んでいる方が率先していかなきゃいけない。町長の答弁の中にありましたけど、そこはやっぱり大事なところだと思うんですけども、その四季の里の運営について、前からいろいろ議会に言われてると思うんですけど、あそこで農産物の直売所があっても、売り上げが少ないということで、四季の里の運営の仕方が悪いんじゃないかと思うんですね。ちょっと聞いた話ですと、相和に住んでる人で、四季の里に出していたけれども、なかなか運営している人と折が合わなくて今は出していないという人も、相和地域の中におられるんですね。そういうのをオープンにして、うまく相和地域のみんなが何でもあそこへ持って行って、それで売れるような、そういう場所にしたい方がいいと思うんです。場合によっては、ボランティアの専門家みたいな、ノウハウ持ってる人を雇うんじゃないですけど、コンサルとか、そういう形にして、四季の里をもっと活性化させた方がいいと思うんですけども、それはどうですか。今はちょっとクローズ的な施設になっているんじゃないかなと思うんですね。もっとオープンにして、売り上げも多くして、施設の利用も多くするという事は考えていないんでしょうか。

地域振興課長 四季の里につきまして、一つ代表的なのは直売所であるということです。それから、施設といたしましては、あと、農業体験施設がございます。ピザ窯も併設されて、隣につくっているという状況でございます。一つには直売所、一つにはいろいろなイベントといたしますか、教室を開催する場所ということでございます。教室といたしますか、部屋を使って行う授業につきましては、町も直接かわかって、貸し出しをすとか、町が直接教室を開催するとかということで行っておりますが、直売所のほうにつきましては、スペースを貸して直販組合のほうで運営が直接行われているという状況でございまして、主体となるのは直売所であるということでございます。

まずは組合として積極的な活動を期待するところは大きいわけですが、町といたしましては、やはりいろいろな、客が多くなるようなことにつきまして、町からも提案しているところでございますけれども、そういったことで、売り場面積も限られたところでございますので、売るものといいますか、持ち込みの人数も急激に増やすということになりますと、なかなか場所的な問題もございまして、難しい面もございます。そういったこともございますが、やはり言われるように、いろいろなものを持ち込んで、多数の方に来場いただくということは、積極的に考えなければ

ばいけないと思っております。

組合のほうにも、いろいろと今後も提案していきたいと思えます。以上です。

1 4 番 よろしくをお願いします。

あそこで、おおい夢の里は今、早咲きザクラがあって、なぜ松田と大井町で来る人が違うかという、観光客というのは、結局お得感があるかどうかという、そこが問題なんです。1,000円の交通費をかけて1万円のよかったなっていう、だから海外旅行で50万円もかけて行く人というのは、すごくいい景色があるから行くのであって、大井町へ行く人も、あそこまで交通費をかけてきた人が、あすばらしいなと思えばいいと思うんですね。と同時に、物もそうなんですけど、松田と絶対的な違いというのは、松田も花より団子といって、大井町は花しかないんですよ。でも向こうはちゃんと露天商があって、楽しむところがあるし、町の中を散策しても同じようなことがあって、おおい夢の里でやれとは言いませんけど、団子がないじゃないですか。四季の里もそのぐらい考えたほうがいいと思うんですね。あそこのところで、早咲きザクラがあるときだけ、甘酒は無料ですから、そうじゃなくて、何か売るものがあると来るんじゃないかなと思うんですね。これは私の考えですけど。

もう一つ、あそこの四季の里の活性化で、直売所の売り上げを増収するには、きのうちちょっと出たけど、あそこで買うポイント制度、そういうのも考えて、買った人に対してポイントを与えとか。もっと極端な話になると、難しいと思うけど、あそこへ町民が買い物に行ったときは、マイナンバー制度のカードを持ってきて、レジでピッとやると住民税が10%安くなるとか。最後はポイント制度も税金がまわっていくんですから、考え方の違いですから。ですから、極端なことを言うと、そういうような発想があると買い物へ行くんじゃないかなと思うんですけど、四季の里をもっともっと広めてほしいというのが自分の考えです。これは自分の意見ですから。

ちょっと時間がなくなってきましたから、次へ行きたいと思えます。先ほど町長の答弁の中に出てこなかったんですけど、相和小学校を相和ブランドにするか。少しは出たんですけど、昔、自分の記憶の中ですけど、相和ことばといって、こちらの自分たちの平地とちょっと違うなというのがあったんですよ。イメージ的なものですけど。そういうのを見て、相和小学校をどうするかということで、今、全町的に受入体制がありますが、なかなかないということで、ICT教育とかいろいろやられてますが、特認校ということで。でも、あそこの相和小学校を活性化すること

によって、相和地域はよくなるんじゃないかと。ですから、来年度、下から来られる方が、1年生が一人とか、そのお兄さんがいるとか、その程度ですけど、私が考えるには、やはり一学年当たり、今いる生徒数の倍ぐらいをあそこで受け入れるような、まず人を育てる。で、きょう、朝のドラマで言ってた話ですけど、学問好きの人が集まる学校というような、一つの方向付けをきちっとしたほうがいいと思うんですね。スポーツ好きの集まる学校というのも世の中にあって、高校でほとんどの人がスポーツばかりやって、それで1,000人も2,000人も来るという。逆に言うと、相和小学校は学問好きの人が集まる学校というのがいいんじゃないかなと思うんです。そういう方向性がないから、なかなか下から行かないんじゃないかと思うんですけど、どうなんですか。ただ単にタブレットを導入したからって増えないと思うんですけど、もうちょっと一歩踏み込んで、相和小学校を違う方向で考えていくというお考えも持ったほうがいいと思うんですけど、それについて、教育長、いかがでしょうか。

教 育 長 なかなかというお話ですけど、来年度が第一歩です。まずそこら辺をご認識いただきたいと思います、ですから、私どもも今年度この制度を取り入れるにあたり、どの程度の関心があるかということは本当に暗中模索といった状況でございます。実際、数値的には、今、議員さんが述べられたとおりですけれども、関心を持たれた方は何人かおられます。問い合わせもありましたし、実際に見学に来られた方も何人か親子であったという状況がございます。その結果ということでございまして、私としては、いっぺんにたくさんの方が来られてもどうなるのかなという危惧もしておりました。実際、あり方検討会でも、委員の方々のご意見ですと、せいぜい半分にしておかなきゃいけないと。相和地域の半分にしてもらいたいと。実際、6名とか8名とかの半分といったところも、実際はそれでも現状を維持していくのは厳しいんじゃないかというご意見もさせていただいたところでもございましたけれども、やはり余り相和地域のよさが失われてしまっても困るというようなところもありますので、その辺を含めた中で対応をしていかなければいけないのかと思っております。

いずれにいたしましても、関心を持たれた方も多々おられるということと同時に、今後どうしていったらいいかということも含めて、来年度、アンケート等を実施し、保護者の方のご意向等も集約していけたらと思っております。以上です。

1 4 番 今、教育長が言われたんですけど、相和地域のよさが失われてしまってもという。よさがもうなくなったから、問題が起きてるんじゃないかと。

自然に人口減にはなっているけど、でもそんなことは言わないで、新しい相和をつくってもいいと思うんですよ。そうしないと、来ないと思いますよ。相和地域のよさに、下の人たちが行くってことはあり得ないと私は思いますよ。新しい相和小学校のあり方というのを考えないと下から行かないと思うんですよ。それはどうですか。私は、相和地域のよさに下から行くというと、年に1人か2人ぐらいだと思うんですよ。だって、相和小学校としての新しいよさというの、それは言っているようにスポーツなのか学問なのか知りませんが、特化しているという方向性を出していったら、下から行く人も増えると思うんですけど、ですから、相和地域のよさっていうと、それに対して反発する、今と同じだと思うんですけど、どうでしょう。私は相和地域のよさよりも、相和小学校のこれから新しい姿を出すべきだと思うんですけど、いかがでしょうか。

教 育 長 いずれにいたしましても、相和小学校の今まで培われてきた歴史とか伝統というものもあります。そういったものはまず第一に大事にしなければいけないんじゃないかと思います。それが、まさに地域の学校になるのかなと思います。そこが、例えば保護者とか地域の方々の熱い思いだとか、小集団でのかかわりといった、そういったものはやはり維持していきたいと思っております。地域の学校ということの一つ踏まえた中で、そういうところに賛同していただく方を受け入れていきたいと思っております。

当然、特色ある教育を推進するということの中では、幾つかの手を打っているところが、先ほど議員もおっしゃったICTもそうなんですけれども、いわゆる放課後教室の開設といったものも、教育委員会の取り組みになります。学校独自では放課後わくわくタイムということで、いわゆる低学年のお子さんを対象に特設の時間を設けてやっています。実は、これは私が教育長に就任させていただいた当時から、校長のほうにその旨を伝えてお願いをしていた経緯がございます。当初、週に1時間、1回程度、年に何回かという、そんな回数でしたけれども、今年度は週3回実施している状況でございます。その中には、先日、諸星議員からのご質問いただいた、啓蒙教育にかかわるようなところの中で、ALT等を派遣して対応していると、取り組んでいるという状況がございます。

そういったものは、まだ全町的にはアピールしておりませんが、そういった取り組みの中で実施しているといったことも事実でございます。そういったところでご理解いただければと思います。以上です。

1 4 番 本当に、すごく魅力のある、特色のある学校にしてもらえれば。生徒が増えるのが先か、特色あるのが先かというの、いろいろあると思うんです

けど、私としては本当にいい学校にしてもらいたいなと思っております。

時間も時間ですから、せせらぎづくりで、いろいろ質問したかったんですけど、まず最初、あそこに水仙が植わっているんですけども、堤防ののり面に。今年度は、のり面を刈るのが早くて、水仙の頭が全部切られてから水仙が出てきたんですね。町長も見に行かれたと思うんですけど、水仙の上が全部真っ赤になってるんですよ。あれは先に切っちゃったんですね。水仙がぱっと出たときに、のり面を草を刈る人が。もうちょっと早めにのり面を刈っていただいて、それから水仙が出てきたら、もっと今年はきれいだったなと。みんな赤くなってるんですよ。切られちゃってるから。その辺の、あそこを刈る人との話し合いとかというのは、町のほうで持っていないのでしょうか。

生活環境課長 酒匂川の堤防ののり面、酒匂川全体の管理につきましては、県西土木事務所が主体的に管理をしているというところでございます。

町といたしましては、年に1回、堤防の裏の東側の斜面は町のほうで草刈りをしているという状況です。町の実施時期としましては、大体7月前後で、水仙にはほぼ影響がない時期でございます。

議員がおっしゃった草刈りにつきましては、県西土木のほうで発注した草刈りの時期であったと思います。たまたま、私どもが少し草刈りをしたときに、10月の末だったと思いますが、そのときには水仙が芽を出すかどうかぐらいのときでした。大体そのぐらいの時期でいかがでしょうかという話は酒匂川の環境整備という観点から、私のほうからも土木のほうに声かけをしていきたいなと思っています。

ただ、管理する側といたしましては、なかなかそういう部分まで考慮していただけるかどうかというのは、今の時点ではお約束はできないのかなと、こちらからはそういう時期の実施を声かけできればと考えております。以上です。